

第2回第七採択地区教科用図書採択協議会
議事録

第1日目

期 日 平成27年7月23日(木)
場 所 桶川市桶川公民館 大集会室
開 会 午前9時30分
閉 会 午後2時50分

平成27年度 第七採択地区教科用図書採択協議会会長 前島 富雄

委 員	鴻巣市教育委員会	武藤 宣夫	教育長	石原 完	委員
	北本市教育委員会	真尾 正博	教育長	島寄 直子	委員
	伊奈町教育委員会	坂井 貞雄	教育長	澤田 誠一	委員
	桶川市教育委員会	前島 富雄	教育長	岡野千枝子	委員

事務局	桶川市教育委員会学校教育部長	蛭名 正彦
	桶川市教育委員会学校支援課長	家徳 丈夫
	桶川市教育委員会学校支援課主幹兼指導主事	須田 肇
	桶川市教育委員会学校支援課主幹兼指導主事	田嶋 貴子

開 会
(全体司会) 開会のことば

1 あいさつ
(会 長) あいさつ

2 日程の確認
(事 務 局) 日程の説明

3 調査報告・質疑

(司 会) 調査に入る。ここからは会長に議長をお願いする。

(議 長) それでは、協議に入る。

会議に先立って、記録については、要点のみ記録することによろしいか。

(委 員) 異議なし

(議 長) 発言者については、議長とか委員Aという形によろしいか。なお、記録作成のため録音させていただく。記録が済んだら消去することによろしいか。

(委 員) 異議なし

(議 長) 選定の流れについて事務局から提案がある。

(事 務 局) 教科用図書選定については、午前の一連の報告が終了したのち、午後の協議終了後、教科用図書選定の時間において、協議の内容から、委員の意見によって決定していく。委員全員の意見が一致した場合、その教科用図書を第七採択地区の選定案として決定とする。一致しなかった場合、規約第11条により投票となる。投票の場合は、11条の第2項により、委員の過半数を得た教科用図書が選定案の決定となる。また、11条の第3項により、過半数を得ない場合は、得票数が多い順から2種類の教科用図書について投票を行い、多数を得たものを選定とする。11条の第4項において、得票数が同じときは、選定前の協議の経過を十分に勘案し、会長がこれを決するとなっている。

(議 長) 選定方法についていかがか。

(委 員) 異議なし

(議 長) 協議・採択の細かいことについては、午後説明する。

(1) 保護者の代表による研究結果

(議 長) それでは、研究結果の聴取に入る。はじめに、保護者の代表による研究結果の報告である。事務局から保護者の代表を紹介する。

(事 務 局) 保護者の代表として2名の方に依頼した。それぞれの方に中学校の教科用図書全般にわたって研究していただいた。順次その結果をお聞き取り

をお願いする。

(議長) よろしくをお願いする。

(保護者代表) 国語について、東京書籍では、各単元に「学びの扉」という欄があり、国語の基礎的な内容を身に付けられるような工夫がされている。学校図書では、「学びの窓」が設定されていて、学習の進め方を知ったり、まとめをしたりするのに生かすことができるようになっている。三省堂では、「読み方を学ぼう」というのがあり、どのように学習を進めていくかの手がかりになるような説明がわかりやすい。教育出版では、「学びの重点」を設けて、何を学習するのかがはっきり分かるような工夫がされている。光村図書では、各単元に「学習」という欄があり、どのように学習を進めるのかがわかりやすい。

書写については、東京書籍では、日常生活でも役立つメモの方法や、FAXの書き方、お礼状などを例にしているところが工夫されている。学校図書では、細かな説明等は非常に少なく、「文字を書く」ということを一番の目的にしている教科書のように感じる。三省堂では、マンガを多用し、写真・資料等の配置や文字の大きさ、色合いなどに変化をもたせている。教育出版では、実際の芥川龍之介の原稿や、宮沢賢治の手紙の一部などを載せてあり、3年間の学習の成果の卒業カレンダーの制作や、お礼状の例などが載っていて、生徒の興味を深める内容となっている。光村図書では、一つ一つの項目が、キッチリと整理されている。

数学については、東京書籍では、「数学マイノート」があり、ノートの書き方の例があって、進んで学習を進める手助けになる。大日本図書では、見開きで学習が進められるように構成されているので見やすい。学校図書では、視覚的な工夫が面白く、特に各章の初めのページは子供たちにとっては興味をひきそうな表現となっている。教育出版では、各章に入る前に必ず復習のページがあり、以前学習したことを再確認できるように工夫されている。啓林館では、各章の初めにマンガや写真等を上手に活用し、学ぶべき事を理解させることができるようになっている。数研出版では、章の初めには、興味関心を促すような内容が示されていて、新しい学習に入りやすい。日本文教出版では、「生活への利用」があり、生活の中で数学の知識を生かして考えることができるような工夫がある。

音楽については、教育出版社では、1ページ目には、有名な音楽家の方々の写真や、音楽に対する思いや考え方が載っているところは工夫されている。教育芸術社では、特に面白かったのが、「イメージをもとに音楽を勉強する」ページがあったところである。

英語については、東京書籍では、基礎の練習をするページと、会話など生活の場面で使える英語を学習するページがバランスよく配置されている。開隆堂では、読む、聞く、話す、書くの4つの技能がバランスよく学習できる構成になっている。学校図書では、チャプターという学習のまとまりがあり、その学習を通して何ができるようになるかがはっきり示されている。三省堂では、基本的なことを学ぶ、学んだことを使って聞く、話す、書くという学習の構成が、見開きでできるように工夫され

ている。教育出版では、ホップ、ステップ、ジャンプの3段階で構成されていて、基本的な内容が身に付けられるよう工夫されている。光村図書では、ユニットという学習のまとまりごとに学習の目標が明記されていて、基本的な内容が身に付くように構成されている。

社会科、地理的分野について、東京書籍の教科書では、振り返りのページを入れていて、復習できるように工夫されている。教育出版では、項目、章ごとにテスト形式で問題を出す学習のまとめと表現のページがあって復習ができるようになっている。帝国書院では、全体のページが各ページと統合していて、どの分野でも同じ視点でグラフの確認ができるようになっている。日本文教出版では、各ページに「考えよう」「学習の確認と活用」が取り入れてあって学習に取り組みやすい構成になっている。

歴史的分野について、東京書籍では、ページの下に時代のグラフがあり、学習している内容がどの時期の出来事なのかがつかみやすく分かりやすい工夫がしてある。教育出版では、「読み解こう」や「振り返る」などのページを使って自主的に学習に取り組むことができるようになっている。清水書院では、写真や絵をページの外枠に置くレイアウトで、中心に文字を置くことで読みやすくなっている。帝国書院では、各時代ごとにタイムトラベルページがあり、見開きで絵が入っているので、時代の様子が見やすい。日本文教出版では、歴史全体の流れがすぐ分かるように年表が色分けされていて、見たい時代のページが開きやすくなっている。自由社では、「もっと知りたい」や「まとめ」のページが工夫されている。育鵬社では、歴史絵巻や漫画的なキャラクターが入っているので、見やすく、取り組みやすい。

公民的分野について、東京書籍では、大切なポイントを「公民にアクセス」として赤枠で示してあり、自主的な学習に生かしやすくなっている。教育出版では、「言葉で伝え合う」「読んで深く考えよう」のページがあり、表現や活動を深めて学習ができるような工夫がある。清水書院では、写真やグラフのレイアウトが工夫してあって全体のページが見やすくなっている。帝国書院では、項目として、「学習課題」や「確認しよう、説明しよう」があって、要点を学習しやすく取り組みやすい。日本文教出版では、写真が多く取り入れられていて、グラフ、図解も大きく、色分けで見やすく学習に取り組みやすい。自由社では、「ミニ知識」や「ここがポイント」が入っていて重要ところが押さえられる工夫がされている。育鵬社では、様々な仕組みの図が見やすく、流れが分かりやすく示してある。

地図については、東京書籍では、地図上の同じ所の内容にすぐに進めるように、ジャンプマークがあり、確認しやすい工夫がされている。帝国書院では、地名、川などが細かく記されていて、どこに何があるかが分かりやすい。

理科について、東京書籍では、写真やグラフがきれいでページ全体として見やすい。大日本図書では、漫画キャラクターを使って要点など大事なところにコメントを入れていて分かりやすい。学校図書では、各単元が大きく取ってあり、その中で章を分けて細かい説明がされるような構成になっていて分かりやすい。教育出版では、「活用しよう」「要点チェック」「思い出そう」のチェックポイントがあるので、要点の確認ができるのがよい。啓林館では、各学年ごとにマイノートが付いていて、問題が出されているので、各学年の復習ができてよい。

美術については、開隆堂では、ページの関連性をもたせているので見やすい、原寸大の絵を入れてあり、迫力がある。光村図書では、見開きのページの中で学習の流れが構成されていて学習に取り組みやすい。日本文教出版では、学びのねらいやポイントがあってチェックしやすい、鑑賞や表現のページがすぐに見られるようになっていてよい。

技術・家庭科の技術分野について、東京書籍では、学習のまとめは、学習の振り返りや確かめができるようになっていてよい。教育図書では、道具の使い方では、良い例と悪い例の写真を使って説明しているので、すぐに確認ができてよい。開隆堂では、安全、環境、研究、発展などの学習のマークを取り入れていて見やすい。

家庭分野について、東京書籍では、「やってみよう」などのコメントが入っていて、大事なこと、重要なことがわかりやすくなっている。教育図書では、大切などところに実際の写真を入れることで確認しやすくなっている。開隆堂では、学習の振り返りや豆知識のコメントがあり、使いやすかった。調理の部分では、レシピ本のようなレイアウトで、今後の生活に生かして使える。

保健体育について、東京書籍では、オリジナルのマスコットキャラクターを使ってアドバイスを出す工夫がされている。大日本図書では、全体を通して見やすい。資料の写真が、リアルで分かりやすい。大修館では、ページを大きく取ってあり、実際の写真を使って全体が見やすくなっている。学研では、学習の目標や活用などが入っていて、わかりやすい工夫がされている。

(2) 調査員による調査研究結果の報告

(議長) 調査員による調査研究結果の報告に入る。

①国語・書写

(事務局) 国語・書写の調査員代表である。

(議長) よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、国語5発行者、書写5発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員A) 言語活動の中でも書くことが大切であるととらえているが、取り上げ方はどうであったか。

(調査員代表) 書くことを含めた言語活動について、5発行者とも大差ない。各学年指導内容を網羅している。

(委員B) 家庭学習を意識した構成になっているか。

(調査員代表) 復習については各教科書で取り扱われている。予習については、学校図書のみ扱っている。使いやすいかどうかは別である。

(議長) 他に質問はないか。

質問がないので、国語については終わりにする。

②社会・地図

(事務局) 社会・地図の調査員代表である。

(議長) よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、地理4発行者、歴史7発行者、公民7発行者、地図2発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員A) 島や国の記述について、広い視野に立って、多面的多角的にとらえることができ、参考書にもなることがよいかと思うが、生徒が家庭学習を行う際についてその点はどうか。

(調査員代表) 資料集やワークと兼ねている。授業では全部のページは取扱いができない。家庭学習で生徒が活用することはできると考える。

(委員B) 公民的分野の教科書について、国際社会や領土問題の各発行者の扱いについてもう少し詳しく知りたい。

(調査員代表) どの発行者も、多くの見方があることを知ることができるものとなっており、そこからスタートしていくという観点で書かれている。

(委員C) 現実的に明確になっていることは、はっきり伝えることが大切だと思うが、その辺りはどうか。

(調査員代表) そのことについての分量に大差はない。しっかり教えられる内容とな

っている。

- (委員D) 大人が読むのには面白いが、中学生にとって量が負担にならないか。
(調査員代表) 毎時間出てくる資料の量については、授業で使用できる量である。他にワークや資料集を使用する場合は難しくなる。
(議長) 他に質問はないか。
質問がないので、社会については終わりにする。

③数学

- (事務局) 数学の調査員代表である。
(議長) よろしく願います。
(調査員代表) 報告書に基づいて、数学7発行者について報告する。
(議長) 質問はないか。
(委員A) 生徒はわかったつもり、教師は教えたはずということで、実際に生徒が自主勉強の段階でできたまでいかないことがある。できたと思わせる具体的な手立てについての記述はどう思うか。
(調査員代表) 自主勉強において基礎・基本の定着が必要だと考える。どの教科書もその点については網羅していると思う。
(議長) 他に質問はないか。
質問がないので、数学については終わりにする。

④理科

- (事務局) 理科の調査員代表である。
(議長) よろしく願います。
(調査員代表) 報告書に基づいて、理科5発行者について報告する。
(議長) 質問はないか。
(委員A) 問題解決学習は知的好奇心を揺さぶる。理科を学ぶ上での有用性についての見解を教えてほしい。
(調査員代表) 中学生の発達段階から考えて、写真やコラムの掲載により興味・関心を高める。これは調べ学習において科学的な見方、考え方を養うことにつながる。ヒントを教科書から得られると考える。
(委員B) 生徒が実際に行う観察、実験について、時間的に増える傾向にあるのか。
(調査員代表) 生徒が実際に観察、実験を体験することは大切である。発行者によって、内容量は違う。学校現場としては、年間計画の中で、観察、実験を行う時間は確保している。
(議長) 他に質問はないか。
質問がないので、理科については終わりにする。

4 協議 <公開>

(議長) 午後の部を始める。
開会前に申し上げる。
傍聴人は、開会中に協議内容を録音することや写真撮影はご遠慮くださるようお願いする。

(議長) ただ今から、平成28年度使用中学校教科用図書について協議を行う。委員の皆様には、中学校の教科用図書全般にわたって研究していただいたところである。教科ごとに協議を進めていくので、それぞれのご意見を順次お願いする。また、先ほどの調査員による調査研究結果や、各市町の学校における調査研究結果も参考にさせていただきようをお願いする。

(議長) まず、国語から始める。いかがか。

(委員A) 光村図書は、漢字が扱いやすい。古典についても丁寧に親しみやすい工夫がみられる。

(委員B) 光村図書は、丁寧に読みやすく、見やすい。また、中学生の時に読んでほしい題材が掲載されている。古典文化を伝承する配慮がみられる。

(委員C) 光村図書は、発達段階に応じている、季節に応じた言葉の使用がみられる。読む・書くといった力や伝え合う力を身に付けさせる工夫が見られる。

(委員D) 光村図書は、使いやすい。

(議長) 他にいかがか。
ひとつおとり、意見がでたようなので、次に移る。

(議長) 書写についてはいかがか。

(委員A) 光村図書は、国語との関連性がある。

(委員B) 教育出版は、毛筆の手本や筆づかいが分かりやすい。段階をおっている内容になっている。声に出して読みたい、美しい文章が使われている。

(委員C) 光村図書は、楷書と行書の使い分けが分かりやすい構成になっている。筆圧が線の太さの具合で分かりやすい。日常の書式、活用のヒント等が分かりやすく取り上げられている。東京書籍は、見た目がゆったりしており、ゆとりのある構成になっている。

(委員D) 光村図書は、学びやすさから考えて現場から良いという声をきく。使われている紙質もよい。

(議長) 他にいかがか。
ひとつおとり、意見がでたようなので、次の教科に移る。

(議長) 社会の地理的分野についてはいかがか。

(委員A) 東京書籍は、国や県の問題を含めて、いろいろな見方を育てられる。視

点や情報がしっかり入っており、主体的に学習できると考えられる。

(委員B) 東京書籍は、国や領土についてどの部分でもふれられている。

(委員C) 東京書籍もよかったが、帝国書院もよい。大きな写真を多用している。人を含めた写真があり、地域でどのような生活をしているか分かりやすい。大きさもよく、学びやすい。

(委員D) 東京書籍は、見方、考え方を深められる。また、写真やグラフを豊富に活用し、図も大きく見やすい。幅広い視野で考察でき、知識の習得を図る工夫がされている。

(議長) 他にいかがか。

ひとつおき、意見がでたようなので、次に移る。

(議長) 社会の歴史的分野についてはいかがか。

(委員A) 東京書籍は、多角的にとらえている。小学校から中学校へと連続性がある。

(委員B) 東京書籍は、歴史上の事実がきちんと書いてある。手順よく学習できる。

(委員C) 東京書籍は、調べ学習が充実している。帝国書院は、世界の中の日本について知ることができる。歴史的分野と地理的分野の関連を図って学習できる。

(委員D) 東京書籍は、歴史の流れをつかみやすいよう工夫されている。郷土の偉人を多く載せているので、国の歴史を尊重する態度を育てられる。また、地理や公民と共通の資料が使用されており、協調的精神や多角的・多面的に考察する力を育てられる。

(議長) 他にいかがか。

ひとつおき、意見がでたようなので、次に移る。

(議長) 社会の公民的分野についてはいかがか。

(委員A) 東京書籍は、書いてある内容について現代が多い。

(委員B) 東京書籍は、バランスがよい。30年後のことが、生徒に見通せる構成になっている。

(委員C) 東京書籍は、写真や資料を通して、理解できる。多面的に物事をとらえて、思考力・表現力を養える内容である。

(議長) 他にいかがか。

ひとつおき、意見がでたようなので、次に移る。

(議長) 地図についてはいかがか。

(委員A) 帝国書院は、見やすくきちんと書いてある。

(委員B) 帝国書院は、落ち着いた雰囲気であり、見やすい。

(委員C) 帝国書院は、鳥瞰図が見やすく、視覚的にとらえやすい。

(委員D) 帝国書院は、色使い・濃淡がはっきりとしていて、分かりやすい。

テーマ別の資料があり、考え方の基礎を養える。

(議長) 他にいかがか。

ひとつおとり、意見がでたようなので、次の教科に移る。

(議長) 数学についてはいかがか。

(委員A) 東京書籍は、ノート使い方についてしっかり書かれている。主体的な学習に取り組める。啓林館は、基本事項をノート形式でまとめられている。

(委員B) 啓林館は、数学的な思考や表現力が育成できる。また、文字が見やすく配列されている。ノートの書き方も分かりやすい。学びをつなげて生かすことができるような、分かりやすい構成になっている。

(委員C) 東京書籍は、小・中学校の系統性が重視されている。

(委員D) 東京書籍は、基礎・基本が習得できる構成になっている。各章の導入では、生活に結び付いた課題が多く分かりやすい。振り返りや学び直しにより、つまづきが解消できるものとなっている。

(議長) 他にいかがか。

ひとつおとり、意見がでたようなので、次の教科に移る。

(議長) 理科についてはいかがか。

(委員A) 教育出版は、興味・関心を高められる資料がある。「私のレポート」で考え方やまとめ方を育成できる。写真からイメージがわかりやすい。「思い出そう」は、小・中学校のつながりを意識している。

(委員B) 東京書籍は、実験に関心をもつことのできる教科書構成になっており、実験の重要性がうかがえる。また、器具の使い方がていねいに書かれている。

(委員C) 教育出版は、理科に対する興味・関心を高校へとつなげることができるような構成になっている。基礎・基本が活用できる内容である。読みやすい。学校図書は、あっさりとして見やすい。

(委員D) 教育出版は、基礎から応用まで幅広く扱っており、段階をおって学習できる。「ハローサイエンス」は発展的であり分かりやすい。実験と観察が時間的に多い。学校図書は、細かな構成でわかりやすい。

(議長) 他にいかがか。

(議長) 以上で本日の協議が全て終了した。

ここで、公開についても終了とさせていただきます。

傍聴人の皆様には、ご退席をお願いします。

5 採択用教科用図書の選定

(議長) 採択用教科用図書の選定を開始する。

選定方法について確認する。事務局に願います。

(事務局) これから、各教科ごとに、先ほど協議によって挙げられた教科用図書を、一つ選定してもらおう。まず、規約第11条により、先ほどの協議において全員一致で決するものがあれば、それを選定する。しかし、一つに整わない場合は、規約第11条2項により、投票による決定となる。投票による場合、各委員一人1票となる、各自が種目ごとに第1候補を出していただき、過半数の投票を得た教科用図書を選定する。過半数の投票を得た教科用図書がないときは、規約第11条3項により、得票数が多い順から2種類の教科用図書について投票を行い、多数を得た教科用図書を選定する。規約第11条4項において、「投票を行うべき2種類の教科用図書及び選定する教科用図書を定めるに当たり得票数が同じときは、協議の経過を十分に勘案し、会長がこれを決する。」となっているので、協議を十分勘案したうえで、規約第11条3項による2種類の教科用図書を決定する場合や、最終的に4票4票となった場合は、会長に決定していただく。投票については、それぞれ本日の4教科の選定を進めていただき、最後にまとめて行う。

(議長) 投票の事務については、事務局で行い、立会人は、職務代理に願います。

(議長) 国語から始める。

光村図書が多いと判断した。いかがか。

(委員A) 少数意見もあったが、どう生かすか。

(議長) あえて異議が出なければ、投票でもいいと思うがいかがか。

(委員B) 光村図書、教育出版どちらもよいという意見である。光村図書でよい。

(議長) 国語は光村図書でいかがか。

(委員) 異議なし。

(議長) 協議における選定理由を確認する。事務局に願います。

(事務局) 漢字や古典に親しませる工夫がある。読む・書く力や伝え合う力を身に付けさせる工夫がある。中学生の時に読んでほしい題材が掲載されている。

(議長) 国語は光村図書を選定する。

(議長) 書写は3発行者あがっていたが、その中でも、全体的に議論の中では光村図書があがっていた。光村図書の書写でいかがか。

(委員) 異議なし。

(議長) 協議における選定理由を確認する。事務局に願います。

(事務局) 楷書と行書の使い分けが分かりやすい構成になっている。日常の書式、活用のヒント等が分かりやすく取り上げられている。

(議長) 書写は光村図書を選定する。

- (議長) 社会の地理的分野では、東京書籍が多くあがっており、あとは帝国書院があがっていたが東京書籍でいかがか。
- (委員) 異議なし。
- (議長) 協議における選定理由を確認する。事務局にお願いする。
- (事務局) 主体的に学習できる構成になっている。地理的事象を、生徒が主体的に学習していく際の視点が示されている。写真やグラフを豊富に活用し、知識の習得を図れるよう工夫されている。
- (議長) 社会の地理的分野は東京書籍を選定する。
-
- (議長) 社会の歴史的分野では、東京書籍と帝国書院が出ていたが、多くは東京書籍であった。いかがか。
- (委員) 異議なし。
- (議長) 協議における選定理由を確認する。事務局にお願いする。
- (事務局) 歴史の流れをつかみやすいよう工夫されている。郷土の偉人が多く掲載されている。地理や公民と共通の資料が使用されている。調べ学習が充実している。
- (議長) 社会の歴史的分野は東京書籍を選定する。
-
- (議長) 社会の公民的分野では、東京書籍が中心にあがっていたが、東京書籍でいかがか。
- (委員) 異議なし。
- (議長) 協議における選定理由を確認する。事務局にお願いする。
- (事務局) 30年後のことが、生徒に見通せる構成になっている。多面的に物事をとらえ、思考力・表現力を養える内容である。
- (議長) 社会の公民的分野は東京書籍を選定する。
-
- (議長) 地図では、帝国書院について多くあがっていたが、帝国書院でいかがか。
- (委員) 異議なし。
- (議長) 協議における選定理由を確認する。事務局にお願いする。
- (事務局) 鳥瞰図が見やすく、視覚的にとらえやすい。色使いや濃淡がはっきりとしており、分かりやすく工夫されている。
- (議長) 地図は帝国書院を選定する。
-
- (議長) 数学では、啓林館と東京書籍があがっており、東京書籍のほうが多かった。東京書籍でいかがか。
- (委員) 異議なし。
- (議長) 協議における選定理由を確認する。事務局にお願いする。
- (事務局) ノートの使い方についてしっかり書かれており、生徒の学習に生かす工

夫がされている。生活に結び付いた課題が多い。基礎・基本の習得に向けて、振り返りや学び直しがしやすくなっている。

(議長) 数学は東京書籍を選定する。

(議長) 理科では、教育出版と東京書籍が出ているがいかがか。

(委員A) 東京書籍の意見を出したが、必ずしも東京書籍という意見でもない。

(議長) 教育出版でいかがか。

(委員) 異議なし。

(議長) 協議における選定理由を確認する。事務局に願います。

(事務局) 生徒の興味・関心をひく資料がある。基礎から応用まで幅広く扱っている。

(議長) 理科は教育出版を選定する。

(議長) まとめたものを事務局から確認で報告する。

(事務局) 国語は、光村図書。

書写は、光村図書。

社会の地理的分野は、東京書籍。

社会の歴史的分野は、東京書籍。

社会の公民的分野は、東京書籍。

地図は、帝国書院。

数学は、東京書籍。

理科は、教育出版。 以上。

(議長) いかがか。

(委員) 異議なし。

(議長) 以上をもって、議長の任を解かせていただく。協力に感謝申し上げます。事務局より連絡がある。

(事務局) 明日24日(金)においては、本日と同様の手順で、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語の5教科の調査報告、協議、選定を行う。

(司会) 1日目終了とする。

第2日目

期 日 平成27年7月24日（金）

場 所 桶川市桶川公民館 大集会室

開 会 午前9時30分

閉 会 午後1時55分

平成27年度 第七採択地区教科用図書採択協議会会長 前島 富雄

委 員	鴻巣市教育委員会	武藤 宣夫	教育長	石原 完	委員
	北本市教育委員会	真尾 正博	教育長	島寄 直子	委員
	伊奈町教育委員会	坂井 貞雄	教育長	澤田 誠一	委員
	桶川市教育委員会	前島 富雄	教育長	岡野千枝子	委員

事務局	桶川市教育委員会学校教育部参事兼次長	松本 潔
	桶川市教育委員会学校支援課長	家徳 丈夫
	桶川市教育委員会学校支援課主幹兼指導主事	須田 肇
	桶川市教育委員会学校支援課主幹兼指導主事	西納 聡
	桶川市教育委員会学校支援課主幹兼指導主事	小高 剛

開 会

1 日程の確認 事務局

2 調査報告・質疑

（全体司会）調査報告に入る。ここからは、会長に議長をお願いする。

（議長）それでは、本日の選定までの流れについては、昨日実施した教科と同様に進めていく。

はじめに調査員による調査研究結果の報告に入る。事務局をお願いする。

①音楽

(事務局) 音楽の調査員代表である。

(調査員代表) 報告書に基づいて、一般2発行者、器楽2発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(議長) 質問がないので、音楽についてはこれで終わりにする。

②美術

(事務局) 美術の調査員代表である。

(調査員代表) 報告書に基づいて、美術3発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員A) 美術の基礎・基本を学んだり、鑑賞や表現等も学んだりする。そういうねらいで美術の授業が進んでいくのだと思うが、一方、美術は、美しいものに感動する心には心情とか人間がいろいろなものを見て心が穏やかになる、そういう瞬間も当然その中で出てくる。ということは道德教育との関連性も非常に強い教科だと私は思う。ただ技術等を学ぶだけでなく、そこから得られる中学生の心穏やかな状況を作り出すことも意図して発行者は作られていると思う。そういう観点からみるとそれぞれ3発行者が工夫している点はどんな点か。

(調査員代表) 先程紹介したマークの中で、開隆堂では鑑賞を通して、鑑賞ページに問いかけがされている。例えば、「あなたはこの絵からどんな感じを受けますか、この絵の表し方の特徴を。」ということで作者の心情等を読み取るような工夫がある。光村図書については、青いハートのマークが道德の学習と関連する内容ということで明らかにされている。日本文教出版については、緑のクローバーマークが道德の学習と関連する内容ということでマークに示されている。これを取り上げることで道徳的な心情が深められるように各発行者工夫されている。

(委員B) 調査員代表として美術科教育と心の教育についての展開について伺いたい。

(調査員代表) この教科書にも示されているが、子供たちの心の中に元々あるもの、美術はそれを作る作品でなく、作ること自体が学習であるので経験値というか自分が作る途上で発想すること自分でつかみ取っていくこと、その中で美しいと感じること、また、その作品の社会での役割、そのようなことで自分との対話、他者との関わり、社会との関わり、そういう道德の内容をそれぞれ考えていくことができる。

(委員C) 感想だが、開隆堂の見開き1ページ目の作品があるが、左側のページに「人と違っていいんだよ。人と同じでもいいんだよ。」と書かれているが、私は感動した。大変すばらしいなと思った。各発行者とも共通に道德との関連を扱っていると考えてよいか。

(調査員代表) 各発行者とも道德との関連は取り扱っている。

(委員D) 感想だが、3発行者ともよい教科書である。取り上げている題材等、今の中学生に見ておいてもらいたい教材が多く載せてあって、どれを選ぶとなったら3発行者ともよくて順番が付けられない、そういった教科書のよさを感じた。

(議長) ほかに質問がないので、美術についてはこれで終わりにする。

③保健体育

(事務局) 保健体育の調査員代表である。

(調査員代表) 報告書に基づいて、保健体育4発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員A) 2020年に東京オリンピック、パラリンピックが開催されるが、スポーツライフに関して、編集方法等に工夫があれば伺いたい。

(調査員代表) 調査報告書にある通り、各発行者ともそういった観点でオリンピックに関しては扱っている。生涯にわたって運動に親しむ能力という観点をとらえて各発行者とも工夫されている。確かに大修館は見開きでオリンピックとあるが、他発行者についても生涯にわたるスポーツへの興味・関心をもたせるという観点で工夫されている。

(委員B) 保健体育は生きる力の根幹をなす教科だと思う。どういう形で興味・関心を高めさせて、学習意欲をもたせるか、そして、知識を深めていくか。大切なのはその後どう実践に結び付けていくかである。そういった観点で見るとどのような工夫がされているか。

(調査員代表) 各発行者とも教科書の使い方が最初の方に示されており生徒に1時間の流れが理解しやすいようになっている。「学んだことを生かそう」、「活用しよう」等、学んだことをすぐにその後生かそうという点において各発行者とも工夫されている。または、ロールプレイング、ブレインストーミングといった子供たち同士で話し合う、そういった観点も取り入れられている。

(委員C) 心身の機能の発達に注目した。ストレスへの対処の仕方が書かれているが、どのような位置づけとなっているか。

(調査員代表) どの発行者も、よりよい学校生活を考えさせる工夫がされている。

(委員D) 考えさせる場面を設定できるような工夫がされているということか。

(委員E) いろいろな意見を出し合って、悩みを解決してほしいという願いがある。

(委員F) 生涯運動を続けていくために運動の楽しさの体感が大切だと考える。楽しさを体感するにはある程度技能が身に付かないとならない。楽しさと技能の定着のバランスをどうとらえているのか。

(調査員代表) 基礎・基本を身に付けなければ楽しさは得られない。導入の段階での慣れの運動等で基礎・基本をしっかり身に付けさせるような工夫をすることが大切である。

(議長) ほかに質問がないので、保健体育についてはこれで終わりにする。

④技術・家庭

(事務局) 技術・家庭の調査員代表である。

(調査員代表) 報告書に基づいて、技術・家庭3発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員A) 技術・家庭については授業者は各校一人だと思われる。安全・衛生に関する配慮を心配している。3発行者ともマーク等で示しているが、安全・衛生に関する視点から見ると3発行者をどう感じたか。

(調査員代表) どの教科書も安全に関しては非常に気を遣って作成されている。イラストあり写真ありということで作業手順が分かるような見開きになっていて、その中にどういう服装でどういう活動をしたらよいのかというのが分かる図があったり、こういうことをすると安全ですよという模範的な写真、絵、イラストがあったりとどの発行者も安全・衛生については適切な表示がされている。

(委員B) 将来の自分の職業や生きていく上の未来像等に結び付きやすい教科書だと思う。物を作って終わりではなく将来の展開のようなものを示唆することを感じさせる部分はあるか。

(調査員代表) テクノロジーは日進月歩であり、とても速いといわれているので教科書に書かれている内容もどんどん新しくなっている。基本的な技術が入っているが、どこからそれが基本的な技術として身に付けた方がよいとされているのかというようなスタンスで書かれているものが多い。例えば、情報教育に関しても大きなコンピュータではなく、タブレットやスマートフォンについても書かれている。そして、それを正しく操作するための内容または、それをプログラミングする内容というような形で進歩して発展しているものから基礎・基本として習得するものというような表記の仕方がされている。だから中学校3年間プラスアルファで十分に利用できるし、書かれているものが卒業後の日本の未来につながるものという記述の仕方は、どの発行者もしている。

(委員C) 理科、数学等他教科とすごく関連がある。教科書レベルではどのように関連付けているか紹介してほしい。

(調査員代表) 東京書籍は非常に独特なマークを作っている。非常にマークの数が多い。どこに関連するものがあるか、技術・家庭科という中での関連なのか、他教科との関連なのか、小学校との関連なのか、というような形で関連するものについて適切なコメントが記されている。非常に分かりやすい。教育図書についても関連するものというよりは発展するものというような形のリンクが貼られている。開隆堂については、技術・家庭科の中でのリンクが貼られている。このような形で今学習することがどんな方向に広がっていくのかどんなところとつながっていくのかというようなアドバイスをする目印は付けられている。教える側、使う側としては

非常にありがたい。

(議長) ほかに質問がないので、技術・家庭についてはこれで終わりにする。

⑤外国語

(事務局) 外国語の調査員代表である。

(調査員代表) 報告書に基づいて、外国語6発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員A) ますますグローバル化が進む社会の中で小学校の外国語活動との円滑な接続について各発行者の配慮をどのように受け止めたか。

(調査員代表) 小・中連携の観点から行くと最初の中学1年生の初期段階のところで各発行者とも豊富な絵材料を取り入れている。音声に関しては音声上のより生の英語に近いものを取り入れられるような工夫がされている。一般動詞から導入する学校図書は小学校の外国語活動との関連を考えても取り入れやすい。また、生徒が今までと違って非常に使い慣れた表現を使いながらそこから入っていくという新しいスタイルを設けている。日本では元来から be 動詞から入ってその後に一般動詞という流れが一般的だったが注目すべき新しい流れである。

(委員B) どこの教科書も言語材料つまり文法を含んだものは同じである。違うのは題材内容であると思う。各課で扱っている題材で各発行者の特徴にはどのようなものがあるか。

(調査員代表) 光村図書については、世界的なトピック、英語圏でないアフリカや中近東の風習に触れるような新しい題材を取り上げているものもあった。また、アルファベットの点字を実際に触って学ぶことができる。家庭科や社会等、他教科の授業内容を英語で学習できる。教育出版においては、別冊を付けることによりいろいろな話題トピックに関して訓練ができ発展的な学習として取り入れられるような工夫がされている。

(委員C) 各発行者で扱っている読み物教材で印象に残ったものはあるか。

(調査員代表) マララさんのスピーチ等海外での子供のスピーチが印象に残っている。分かりやすい英語なのだが心に響く題材となっている。

(委員D) 言語活動でこれは面白いな子供が喜ぶだろうなそんな特徴をもつものがあったら教えてほしい。

(調査員代表) 開隆堂のプロジェクトの流れはよくできていると感じる。各発行者とも今までの教科書よりも参考書的な形で分かりやすくなっている。

(委員E) 小学校で外国語活動が始まって初の改訂である。それを受けてここが変わったというものはあるか。

(調査員代表) 中学校で新しく入るのは「書く」ということであるので、「書く」ことに関しては非常に丁寧に扱っているものが多いと感じた。内容的には小学校の外国語活動でやったことを踏まえてという形で作られている。そのため、前回開隆堂だけであったA4ワイド版を4発行者が取り入れた。

(委員F) 1年生の始めの方に、「英語らしく発音しよう」とあった。とにかく話してみよう、英語を身に付けようという意気込みを感じた。

(調査員代表) フォニックスに対して日本語で細かな説明を入れ、以前だと教師サイドが与えるだけだったが、自分で見て復習できるような学びコーナーを設け、読んで理解することが可能な構成になっているものが増えている。

(委員G) CDは教科書に付いているのか。

(調査員代表) 教科書には付いていない。

(議長) ほかに質問がないので、外国語についてはこれで終わりにする。

3 協議 <公開>

(議長) 午後の部を始める。開会前に申し上げる。傍聴人は、開会中に協議内容を録音することや写真撮影はご遠慮くださるようお願いする。

(議長) ただ今から、平成28年度使用中学校教科用図書について2日目の協議を開始する。委員の皆様には、中学校の教科用図書全般にわたって研究していただいたところである。昨日と同様に、教科ごとに協議を進めていくので、それぞれのご意見を順次、願する。また、その際、先ほどの調査員による調査研究結果や、各市町の学校における調査研究結果も参考にさせていただきよう願する。

(議長) それでは、音楽から始める。委員の皆様から意見・感想等をお願いする。

(委員A) 音楽一般、器楽とも教育芸術社がよいと考える。学習指導要領等で示された内容と各教材との関連が「音楽学習MAP」で示されており、歌唱・創作・鑑賞のバランスのとれた配置になっている。教材を通して、何を身に付けるか課題・目標が大きく分かりやすく表示されている。また、全学年において、「歌い継ごう日本の歌」があり、我が国の音楽文化に触れることができる機会を与えている。また、器楽については、各楽器の持ち方や使い方など様々な角度からの写真とイラストで構成しており、楽器の奏法の手順が分かるよう工夫し、確実に身に付けることができるようになっている。

(議長) ほかに意見・感想等はないか。

(委員B) 教育芸術社を推薦する。日本や諸外国の音楽文化について理解ができるよう資料等を載せている。オーケストラ、オペラ、バレエ、歌舞伎、文楽等たいへん見やすい資料となっていると思う。また、生徒の興味・関心をひく資料を扱っており、説明が分かりやすいという点でも教育芸術社を推薦する。また、リコーダーやギターの扱い方等、資料も多く載せてあり、やはり説明が分かりやすいという点から、器楽も教育芸術社を推薦する。

(議長) ほかに意見・感想等はないか。

- (委員C) 一般、器楽とも教育芸術社を推薦する。理由としては、まず一般については、多様な音楽に触れられるよう工夫されている。音楽MAPで歌唱・創作・鑑賞の系統性を表してそれぞれの課題で何を学習するのか理解できるようになっている。「ここが分かればGrade up!」ではどのように工夫したらよいか書き込んで発表しながら言語活動を充実させる場面が記されている。何よりも教科書を開いた途端、表紙の裏2ページを使って、迫力あるオペラの様子や歌舞伎の様子の写真が載せてある。開いた途端に音楽の世界にいざなってくれる。器楽に関しても各教材の目標とする学習内容やその方法、「学習の窓口」「Q&A」「吹き出し」など学習に必要な情報が示されている。生徒が自主的に学習に取り組める工夫がされている。
- (委員D) 中学生に細かく教えるには、楽器についてもよく紹介しており、日本の伝統楽器のよさを知ることができるように工夫してあることから教育芸術社がよいだろう。
- (議長) ひとつおりの意見が出たようなので、次の教科に移る。
- (議長) 美術についてご意見・ご感想等をお願いします。
- (委員A) 日本文教出版がよくできている。西洋、東洋の作品、有名作品から有名でないものも含めて鑑賞教材としてしっかりと記載されている。巻末の資料も充実している。日本文教出版を推薦するが皆のご意見で開隆堂も考えられる。
- (議長) ほかに意見・感想等はないか。
- (委員B) 開隆堂を推薦する。感性を豊かにするために原寸大の作品を取り入れたり、見開きにしたりして美術文化に対する理解を深め、豊かな情操を養う工夫をしている。原寸ギャラリーは素晴らしい写真で、たいへんな迫力であり開いた途端に作品が蘇ってくる。生徒にも感動を与えると思う。学習の目的とふり返りを示すことで主体的に学習に取り組むことができる。生徒の作品が多く掲載されている。同学年の同じ生徒が素晴らしい作品を作って載っているということは学ぶ方にとっても意欲を掻き立てられる。非常に大きな参考作品となる。
- (議長) ほかに意見・感想等はないか。
- (委員C) 3発行者とも資料も多くよくできた教科書だと思う。どれがよいのかを選ぶのが難しいほどよい教科書であった。本市としては、光村図書を推薦する。国語、音楽、道徳を通して、心の教育がされると思う。また、日本の生活に根差した作品が多く紹介されている。絵だけでなく工芸品や仏像、彫刻、多方面からとらえた作品を数多く載せているという点から光村図書を推薦する。
- (議長) ほかに意見・感想等はないか。
- (委員D) 本市としては開隆堂出版を推薦する。美術の学習を通して、表すことの

喜び、感じることの喜びが示されていて、意欲的に学習することができる。生徒作品を多く掲載している。

(議長) ひとつとおり意見が出たようなので、次の教科に移る。

(議長) 保健体育についてご意見・ご感想等をお願いします。

(委員A) 本市は2発行者を推薦する。1者目は学研である。見開き2ページで学習内容が収められていて非常に見やすい。また、資料、マーク等も適所に使用して構成されている。各章の最後に章のまとめが設定されていて学習内容を習熟度に応じて深めることができる。もう1発行者は大修館である。中学生が抱く疑問を掲げて自ら課題を発見させ、問題解決を通して実生活に生かせるような工夫がされている。また、先程もあったが、オリンピック・パラリンピックへの対応も配慮されている。順番を付けるとすると始めに学研、場合によっては大修館ということで現時点では考えている。

(委員B) 本市も1発行者に絞り切れず2発行者選んできた。始めに本市としては、大修館の教科書を1番とする。どうして運動するのか、スポーツをするのか、安全なスポーツの行い方、そして、スポーツをすることにより生活が豊かになるという教科書の示し方をしている。また、体の発達、仕組みから環境、病気、中学生が抱く疑問から入り病気の予防等広がりを見せている。また、1ページ目にオリンピックに触れている点もこれから中学生は2020年のオリンピックに沿って成長していくこともあり、まず始めにそこに触れているというところも印象に残っている点である。2番目に学研である。文字の大きさが見やすい。また、保健のページが多く取られていること、見開きの2ページを1単位の時間で学習するような構成になっているところがよいということで、まず初めに大修館、2番目に学研を推薦する。

(委員C) 本市では学研と大修館の両方を推薦する。まず、学研だがポイントが網羅されており、見開きの構成とか、バランスのよい教科書である。一方で大修館だが、本市としては、大修館を推したい。2020年のオリンピック・パラリンピックなど豊かなスポーツライフが充実している。併せて単元のはじめに設定された発問が意欲をもたせる学習をしやすくしている。課題解決を通して実生活に向けた工夫がされている。

(委員D) 最終結論は学研である。大修館のよさも出ていたが、学研は、生徒の興味や関心により学習が進めやすい。章のまとめがテスト形式になっている。全体に説明文と資料、イラスト、紙面の分割など大変見やすい。大修館は紙面でいうと薄黄色の下地になっていて、その上に文がある。色に色が重なっているため、私の主観だが色が多く感じた。見にくいとまでは言わないがどうかと感じた。

(議長) ひとつとおり意見が出たようなので、次の教科に移る。

- (議長) 技術・家庭の技術分野についてご意見・ご感想等をお願いする。
- (委員A) 技術に関しては、開隆堂を推薦する。全体的にコンパクトにまとめられていて工夫されている。技術の進歩が表されており、子供の動機づけがよいという点である。また、新しい技術の応用、エネルギーの変化が書かれている点から開隆堂を推薦する。
- (委員B) 本市も、開隆堂を第1に考えている。主な理由としては、ものづくりの実践的、体験的な学習活動を取り入れている。また、基礎的・基本的な知識を習得できるようになっている。また、科学的な根拠を伴う技術を理解できるような実験や調べ学習を取り上げている。実践例を用いて状況に応じた安全への配慮がなされたり、安全に関するマークを用いたり、作業中の事故防止を重視した内容になっていることである。
- (委員C) 開隆堂を推薦する。実践的・体験的な学習活動を通して生活をよりよくしようとする意欲を引き出す工夫がされている。人権、男女平等など公平に扱う配慮がされている。多様な例が示されている。
- (委員D) 本市も開隆堂を第一とした。分かりやすく見やすい。具体的な課題を示しながら、実践的・体験的な学習を進められる。
- (議長) ひとつおりの意見が出たようなので、次の教科に移る。
- (議長) 技術・家庭の家庭科分野についてご意見・ご感想等をお願いする。
- (委員A) 写真とイラストが洗練されているため開隆堂を推薦する。
- (委員B) 本市も同じく家庭科は開隆堂を選択する。特徴として、実験とか観察など資料性の高い内容から話題性のあるものまで生徒の知的好奇心をうながす工夫がされている。基礎的な内容と新しい情報があわさってたいへん充実している。学習の目標がはっきり明記され、まとめごとにより振り返り、反省、自己評価ができるようになっている。
- (委員C) 本市は3発行者のうち2発行者を推薦する。教育図書と開隆堂である。まず、教育図書であるが、絵で見て入りやすさがあり分かりやすい。中学生の視点を大切にしている、生徒が興味・関心・意欲をもちながら主体的に学習に取り組めるよう各所に工夫がしてある。開隆堂は、主体的に取り組める。生徒が興味・関心をもって取り組めるように工夫されている。また、情報のバランスがよく入っていて、商品情報のロールプレイングなどがあるのもよい。
- (委員D) 本市も開隆堂と考えている。「やってみよう」、「考えてみよう」において自ら課題をもって社会生活の課題、問題を解決することができる。また、消費者教育、男女平等等においても震災以降の日本の社会の変化に対応した課題が設定されている。
- (議長) ひとつおりの意見が出たようなので、次の教科に移る。

- (議長) 外国語についてご意見・ご感想等をお願いします。
- (委員A) 6発行者あるが最終的には開隆堂を推薦する。小学校で学んだ内容が明示されていて円滑な接続ができるのではないかという点。切り離し可能な学習カード等も工夫されている。巻末にCAN DO リストがある。全体的に見やすく学びやすい。ペア学習やグループ学習がしやすい構成となっている。
- (委員B) 本市も開隆堂で意見が一致した。各学年の巻頭にこの学年ではここまで目標として習得するんだということがはっきりと1ページ目に書かれていて、生徒は段階を踏まえてこのように1年かけて学習するんだということがよく分かる。4技能を活用して取り組める工夫がされている。ページの隅々まで無駄にすることなく書きちりばめられている。自主学習をしてどんどん進めることができる。CAN DO リスト自己評価ができる。聞いて話すことから始めようという工夫がされている。
- (委員C) 本市としては、6発行者の内2発行者を推薦する。一番目に開隆堂、二番目に学校図書である。開隆堂は、基礎・基本の学習ができるように工夫されていて子供にとって使いやすい。基本的な事柄が多い。また、環境、人権問題を教材として扱っていて、この教材を使うことによって学ぶことができる。学校図書は、表現活動を重視している。
- (委員D) 本市は開隆堂を考えている。慣れ親しみながら学習することができる。小学校の外国語活動からの接続やCAN DO リストの扱いなどコミュニケーション活動や理解力を深める資料が豊富である。
- (議長) 以上をもって本日の教科の協議の方が全て終了となる。ここで、公開についても、終了とさせていただきます。傍聴の方のご退席をお願いします。

4 採択用教科用図書の選定

- (議長) 採択用教科用図書の選定を開始する。はじめに、改めて、選定方法について確認する。事務局をお願いします。
- (事務局) 確認をさせていただく。規約第11条により、先ほどの協議において全員一致で決するものがあれば、それを選定する。一つに整わない場合は、規約第11条2項により、投票による決定となる。投票による場合、各委員一人1票となる。各自が種目ごとに第1候補を出していただき、過半数の投票を得た教科用図書を選定する。過半数の投票を得た教科用図書がないときは、規約11条3項により、得票数が多い順から2種類の教科用図書について投票を行い、多数を得た教科用図書を選定する。規約第11条4項において、「投票を行うべき2種類の教科用図書及び選定する教科用図書を定めるに当たり得票数が同じときは、協議の経過を

十分に勘案し、会長がこれを決する。」となっているのでよろしくお願
いしたい。本日の4教科の選定を進めていただきたい。

- (議 長) それでは選定の方に入る。まず音楽からお願いします。音楽については、
先程の意見を総合すると一般、器楽合奏を含めて教育芸術社の声が大半
ではなかったかと思うがいかがか。
- (委 員) 異議なし。
- (議 長) 異議なしということで音楽については一般、器楽合奏とも教育芸術社と
いうことで選定する。選定理由を事務局にお願いします。
- (事 務 局) 一般については、生徒の興味・関心をひく資料を扱っている。多様な音
楽にふれられるように工夫されている。
器楽合奏については、資料によって、演奏の手順が分かるよう工夫され
ている。日本の伝統楽器のよさを知ることができるよう工夫されている。
- (議 長) このような選定理由を掲げることによって教育芸術社の音楽の教科書と
する。
- (議 長) 続いて美術に入る。美術について、先程のご意見等、協議の中身を見る
と開隆堂について2市の委員が、そして、日本文教出版と光村図書がそ
れぞれ1市ずつあがったが、いかがするか。開隆堂ということで選定し
てよろしいか。
- (委 員) 異議なし
- (議 長) それでは、美術は開隆堂出版を選定する。
- (議 長) 続いて保健体育。これについては、先程のご意見を伺うと大修館がいい
だろうというご意見のところ、学研というご意見のところ、甲乙つけが
たいがあえてつけるならば学研を1番、2番目を大修館としたところ、
というようになった。
- (委 員A) 本市だが、先ほどお話したとおり、どちらか甲乙つけずらいが、大修館
を1位にしていきたい。
- (議 長) そうすると、大修館ということになるがいかがか。
- (委 員B) 代える理由、選定理由を明らかにしておきたい。
- (議 長) では、大修館とするその理由について申し上げたい。
- (事 務 局) 豊かなスポーツライフやオリンピック・パラリンピックにふれ、学習意
欲をもたせる工夫がある。自ら課題を発見し、解決することを通して、
実生活に生かせる工夫をしている。
- (議 長) それでは、技術・家庭の技術分野については、全委員からまとまった形
で、開隆堂の教科書がよいのではないかというご意見であったが、それ
でよろしいか。

- (委員) 異議なし
- (議長) 技術・家庭の技術分野は開隆堂を選定することにする。
- (議長) 続いて技術・家庭の家庭分野については、開隆堂の教科書を推薦するところが大半だが、一方、開隆堂と教育図書と同列で推薦するところもあった。ということを経合すると、技術・家庭の家庭分野においても同じく開隆堂の教科書を選定するということがいかか。
- (委員) 異議なし
- (議長) 外国語に移る。外国語については、大勢としては開隆堂である。学校図書と開隆堂が同列のところもあったが、外国語については、開隆堂の教科書として選定するということがいかか。
- (委員) 異議なし
- (議長) これですべての選定が終了した。まとめたものを事務局から確認で報告する。
- (事務局) 音楽一般は、教育芸術社。
器楽合奏についても教育芸術社。
美術は、開隆堂。
保健・体育は、大修館。
技術・家庭の技術分野、家庭分野ともに開隆堂。
外国語は、開隆堂。
- (議長) 先程、選定理由を申し上げられなかった教科があったが、その教科の選定理由を事務局より願う。
- (事務局) 美術、原寸大の写真を見開きページなどで掲載し、感性を豊かにする工夫がなされている。同年代の生徒の作品を多く掲載する工夫がある。技術・家庭の技術分野、実践例を用いて、状況に応じた安全への配慮がなされている。ものづくりの実践的・体験的な活動が豊富に取り上げられている。家庭分野、学習の目標が明記されていて、興味・関心をもって取り組めるよう工夫されている。社会の変化に対応した課題が設定されている。外国語、小学校時の外国語活動の学習内容も記されており円滑な接続ができるように工夫されている。目標がはっきりと掲げられ、生徒が学習内容をとらえやすい。CAN-DOリストを用いて自己評価できるよう工夫されている。
- (議長) 以上が選定理由である。なお、選定理由については、昨日の各教科の選定理由も含めて、口頭で申し上げたものを文書にまとめて最終的なものをいかかしたらよいか。口頭で申し上げたものを骨格にして文書にまとめるところまで事務局一任でよろしいか。
- (委員) 願う。
- (議長) 以上で、選定の方はすべて終了した。進行を事務局にお返す。

(事務局) このあとの手続きだが、各市町にもち帰り、各教育委員会での議決を行い、その結果を事務局へ報告をお願いする。

事務局としては4市町の報告をまとめ、南部教育事務所長へ報告する。

(事務局) 2日間にわたった採択協議会において、議長という大役をお務めいただいた本協議会の会長よりごあいさつを頂戴する。

(議長) 公正かつ慎重に選定案を決定することができた。ご協議に感謝する。

5 閉 会

(事務局) 以上で第2回第七採択地区教科用図書採択協議会を閉会する。